

事業番号	16 01 10	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳遭難救助活動経費			担当課	部局	警察本部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-4 農山村産業クラスター形成プロジェクト		課・局・室	山岳安全対策課		
	施策の総合的展開	1-2 強みを生かした観光の振興 1 選ばれる観光地域づくり		E-mail	police-sangaku@pref.nagano.lg.jp		
	人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針		実施期間	S29 ~		
	施策展開						

### 1 事業の概要

目指す姿	長野県内を訪れる登山者に対して、県警山岳遭難救助隊及び各警察署山岳高原パトロール隊、各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。										
現状(予算編成時)	<input type="checkbox"/> 平成26年中の山岳遭難は、272件発生しており、出動人員は、警察官1,594人、各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員386人が出動している。(平成27年10月31日現在、既に254件の山岳遭難が発生している。) <input type="checkbox"/> 滑落や転倒による遭難、60歳以上の高齢者による遭難が多く、山岳遭難は未だ多発傾向にある。										
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法、長野県山岳遭難防止対策協会会則									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)										
	北アルプス等の著名かつ人気の高い山々を多数抱え、全国から多くの登山者が訪れる長野県において、山岳遭難は多発傾向にあることから、遭難救助に関わる救助隊員の技術の向上や装備品の充実を図り、遭難者の安全救助と活動中の救助隊員の事故防止を図るとともに、遭難防止対策を強化する。										
	② 事業内容 (単位:千円)										
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)					
	1. 県警救助隊による パトロール経費	直接	・北アルプス等、主要山岳地帯での常駐パトロール経費等	825	770	825					
	2. 県警救助隊・山岳高原パトロール隊用装備品の整備	直接	・県警救助隊員や山岳高原パトロール隊員が救助活動等で使用する装備品の整備	2,741	5,457	2,774					
	3. 長野県山岳遭難防止対策協会救助部負担金	負担金	・長野県山岳遭難防止対策協会が行う、救助訓練に関わる経費、救助装備品の購入等の経費の負担金	7,102	7,102	7,102					
			合計	10,668	13,329	10,701					
事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
	当初予算	12,729	10,668	10,701				目標	成果		達成状況
	補正予算	3,804	2,801		合同山岳救助訓練の実施	7回	8回	10回	10回	達成	10
	合計(A)	16,533	13,469	10,701							
	一般財源	8,150	8,130	8,121							
	県債										
	国庫支出金	1,047	972	964							
	その他	7,336	4,367	1,616							
	決算額(B)	15,512	13,329								
概算人件費	職員数(人)	0.01	0.01	0.01							
	概算人件費(C)	83	79	79							
概算事業費(B(A)+C)		15,595	13,408	10,780							

目標に対する成果の状況	救助隊員の救助技術の向上や装備品の充実を図った結果、303人の遭難者を救助・収容するとともに、活動中の二重遭難事故が0件と、救助隊員等の事故防止が図られた。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 山岳遭難は未だ多発傾向にあり、それに伴う救助隊員の出動事案も多いことから、装備品の充実整備や救助・パトロール体制の強化を行うなど、山岳遭難救助活動事業については今後も更に強化していきたい。
--------------------	---